

平成 30 年度 第 4 回「佐世保市環境教育等推進協議会」議事要旨

日 時 | 平成 30 年 10 月 25 日 (木) 14:00~15:00

報告 (1) 平成 30 年度第 3 回協議会の振り返り	
事務局	<p>《資料 1 について説明》</p> <p>第 3 回協議会を 8 月 28 日 (火) に開催し、10 名の出席であった。</p> <p>第 3 回協議会での主な意見、その対応状況として、</p> <ol style="list-style-type: none">1. 素案の 31 ページのコラムでは「である調」となっているが、32 ページのコラムでは「ですます調」となっているという指摘であった。 こちらは、出典元の表記通りとしている関係上、こういった表記になっているが、今回はこのまま、出典元のとおりとしたい。2. 素案の 14、15 ページの環境基本計画と行動計画との関係性が分かるような図を検討してみてもどうかといった意見であった。 本計画の目指すべき姿、環境基本計画との関係性が分かるよう図を再構成し見開きで表している。3. 目標値が「現状値より増」というものが目立って、積極的ではない印象を受けるといった意見であった。 後ほど、【資料 2】で詳しく説明をすることとする。4. 学校に関する記述について、教育委員会と協議してもらいたい。との意見であった。 対応としては、学校に関する記述について、教育委員会へ確認を依頼し修正等を行った。 素案の 30 ページ 2 行目から 5 行目にかけて修正した。 前回の記述では「社会科、理科、技術・家庭科のみならず」としていたところ、新たに教科化される、道徳や英語においても環境に関する内容が出てくるため、「のみならず」といった表現が気になるといった趣旨の意見であったので、「全ての教科等の教育活動の中で環境に関わる学習内容が取り上げられています。」といった内容へ修正している。 39 ページの 10 行目からも同じような内容であったので、修正している。5. 素案の 20 ページのコラム「佐世保市市民協働推進計画」と誤って記載している。正しくは、「家庭でできる 10 の取組」である。 8 番目、前は「アイドリングストップ」としていたが、自動でアイドリングストップする車が増えていることも考え、「エコドライブ」と

	した方が良いのではないかといった、意見があったため、修正している。
委員	意見なし

議事 (1) 環境教育等推進行動計画 素案の検討《資料2》

事務局

《資料2について説明》

目標値について、「現状値より増」というのが目立って、積極的ではない印象を受けるといった指摘があったため、改めて検討した。

総合指標については、前回協議会と変更ない。

「環境市民」の定義にも位置付けている「市民が日常生活で地球環境への影響を認識し環境に配慮した行動」である「エコライフ」の実践度を指標として設定している。

「エコライフ実践度」については、佐世保市環境基本計画の指標でもある。目標値についても、環境基本計画と同様の目標値としている。

- 活動指標の1項目目、2項目目「環境関連講座等の実施回数、参加者数」について

目標値の設定方法としては、佐世保市と人口が同規模程度の中核市(9市)の計画での指標を調査した。

そのうち、本市と同じような指標を設定していた、「八戸市」「福島市」の2市のうち、高い目標を設定している福島市の100回を上回りかつ現況値96回の約1.1倍の目標110回を設定した。

参加者については、現況値の4,193人を1回あたりの人数に置き直し、それに110回をかけた数値としている。

設定根拠の欄に点線で囲っている内容については、今回の協議会で委員から意見をもらいたい内容となっている。

現在は、基本的に本市が主催するものを計上しているが、公的機関という観点から、九十九島ビジターセンター事業について計上するかを検討したい。

今回、欠席委員に、事前に意見を伺ったところ、ぜひ入れるべきではないかとの意見をいただいた。

また、ビジターセンターでは、環境省と佐世保市からのお金で事業を行っており、環境省、佐世保市別々に回数、参加者数が把握できるとのことであった。

ちなみに、ビジターセンターの佐世保市からのお金で行った昨年度実績については、実施回数：5回、参加者数：127人となっている。

環境省の方の事業を合わせると実施回数：21回、参加者数：829人となっている。

- 3項目目「講師等の派遣回数」について

広報活動を行い、どこでも環境教室、夏休みに学童等での出前講座や学校への派遣件数を増加させ80回を目標とした。

- 4 項目目「させぼ環境アドバイザー登録人数」について
長崎県の環境アドバイザーに登録している方など、市内で活動可能な方を登録することで、現況値の2倍である12人を目指すこととしている。
- 5 項目目「佐世保市環境保全活動団体登録数」について
佐世保市内で活動している NPO 団体のうち、環境保全に関する活動を行われている団体を登録したいと考えており、現在把握している6団体を登録し、10団体としたい。
- 6 項目目、7 項目目「自然体験等の実施回数、参加者数」について
環境保全課と少年科学館で行われているものを計上している。
環境保全課については、現在よりも多くイベントを開催していくこととしているが、少年科学館では、事業の在り方等整理され、今年度から自然に関するイベントは少なくなっている状況である。
このことから、目標値については、現況値よりも減らさないようにしていきたいと考え、現況値より増としている。
また、1 項目目、2 項目目で説明した「ビジターセンター」を含めるか含まないかにより現況値は、変更になることがある。
- 8 項目目「環境美化活動等への参加者数」について
該当する事業としては、表右側の「目標値の設定」の欄の3つ目の黒丸に記載している、廃棄物減量推進課が行っている「市民大清掃」、「ごみ減量アドバイザー」、土木部が行っている「させぼ美し化プロジェクト」、みなと振興課が行っている「海の日ビーチクリーンアップ」となっている。
そのうち、目標を設定している事業としては、「市民大清掃」のみとなっており、その他は設定していない状況であるため、「市民大清掃」の増加分を見込み、5万人としている。
- 9 項目目「環境保全団体等の活動への参加者数」について
環境保全団体、こどもエコクラブに入会している人数について、約2倍の2千人を目指すこととしている。
- 10 項目目「環境マネジメントシステム取得事業所数」について
環境基本計画と同じ目標としている。
- 11 項目目「e 宣言@させぼ認定団体数」について
年2団体以上を新規に認定することを目指し、30団体としている。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 12 項目目「させぼエコプラザの情報発信回数」について エコプラザのホームページや SNS の更新回数を 81 回から 100 回としている。 ● 13 項目目「させぼエコプラザの利用者数」について 環境基本計画と同じ目標としている。 ● 14 項目目、15 項目目「学校等に対する支援校数、支援回数」について どこでも環境教室や長崎県環境アドバイザーを利用している学校に限られていることから、学校への広報を行い、制度を知ってもらうことにより、20 校、50 回を目標としている。 ● 16 項目目「学校版環境 ISO 認定校数」について 全小中学校の半数である 35 校を目標とする。
会長	まず、ビジターセンターの事業を計上するかどうかを検討したい。計上する形で異議なければ、計上したいと思う。
委員	異議なし。
事務局	佐世保市事業分のみを計上するか、環境省事業も計上するかを決定したい。
会長	環境省事業まで含めると、指標の数の差が出てくると思われるがどうか。
委員	佐世保市事業分のみが良いと思う。 その方が分かりやすく、反映しやすいと思う。
委員	佐世保市分はどのようなことを行っているのか。
事務局	島に行ったり、自然観察会や海岸清掃等を行っている。 また、環境省事業を含めると、国の事業となるので、西海国立公園全域ということで、佐世保市以外の区域も含まれてしまう。 厳密に、佐世保市の環境教育と考えると、佐世保市事業分のみが良いのではないかと思う。
委員	平戸や五島も含まれるので、やはり佐世保市事業分のみが良いと思う。
会長	佐世保市で行っている事業を計上するということで行きたいと思う。
委員	少年科学館の事業は、少なくなっている。今後は少なくなったままであると思われる。
委員	少なくなった理由は。
委員	経費の問題であると思う。 もう一点は、参加者に対して、スタッフが少ないことから、安全管理が十分に行き届かないという問題がある。
副会長	少年科学館の事業が少なくなるということで、少なくなったのはどういう内容か。
事務局	なくなった内容としては、「いきものと遊ぼう教室（7回・209人）」、

	「里山探検教室（８回・１１８人）」である。 その代り、自然観察会が９回に増えている。
会長	そうすると、現況値の 96 回のうち 15 回というのがなくなることになる。 その分、ビジターセンターの分を足したとしても、足りないがそこはどうか考えているか。
事務局	少年科学館の事業としては、先ほどの 15 回が減るが、自然観察会が 7 回増えることとなり、合計マイナス 8 回となる。 環境保全課で行う事業として、今後 7 回増やすこととしていることから、実質はマイナス 1 回ということになり、そう変わらない数値となる。
副会長	させぼエコプラザの利用者数については、館内又は外で行ったイベントの参加者数どちらなのか。
事務局	中と外、両方合わせた数値である。
委員	３ページの No.9 「環境保全団体等の活動への参加者数」の目標値の設定に記載されている「TEAM SEA TURTLE」及び「日本野鳥の会」については、NPO 法人ではないのではないか。
事務局	NPO 法人ではなく NPO 団体という表記に修正する。
会長	先ほどの環境関連講座等の参加者数の目標については、大幅な数値の変更は必要なさそうであるのでそのまま行きたい。
副会長	先ほどの増減分を反映させた上で、現況値・目標値を再度整理すること。

議事 (1) 環境教育等推進行動計画 素案の検討《資料3》

事務局	<p>《資料3について説明》</p> <p>ここでは、先ほど、第3回の振り返り、総合指標、活動指標については、説明したので、その他、前回から修正等を行った項目などについて、説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3ページ <p>前は、こちらのコラムでは、環境基本計画の施策体系について記載していたが、「環境基本計画とは」というところから始めて、4ページに施策体系、5ページに重点プロジェクトについてということで、環境基本計画の記載をまとめている。</p> ● 8ページ <p>下の方に、用語説明を記載している。</p> <p>前は、用語説明はしていたものの、本文の方に印を付けていなかったため、米印を本文につけるようにした。</p> ● 本日ご欠席されている委員から2点指摘をもらっている。 ● 1点目 <p>目次「第2章 基本的方向性と具体的施策展開」の項目立てについて意見をいただいている。</p> <p>まず前半の「基本的方向性」については、「1 本計画の目指すべき姿」と「2 各主体に期待される役割」を指していて、後半の「具体的施策の展開」は「3 具体的な施策の方向性」を指していると思われるが、そうとらえると、「3 具体的な施策の方向性」ではなく「3 具体的な施策の展開」とした方が適切ではないかと意見をいただいた。</p> ● 3点目 <p>全体的に「取組」の表記の仕方について指摘をいただいている。</p> <p>2ページ13行目の後ろの方に「取組」とあるが、33行目の後ろの方に、「取り組み」と送り仮名を「つける場合」と「つけない場合」の使い分けが明確でないとの指摘をいただいた。</p> <p>事務局としても、名詞の場合は送り仮名を「つけない」こととし、動詞の場合は、送り仮名を「つける」こととする。</p>
会長	ご指摘いただいた2点については、そのような形で修正ということでお願います。
副会長	素案全体に関することであるが、脚注について、語句の説明が非常に多いので、番号を付するのはどうか。
委員	11ページには「※1」がある。
副会長	「(注1)」としてはどうか。

会長	<p>例えば「させぼエコプラザ」という表記は多く本文中に出てくるが、1ページから順に読んでいくと分かるが、途中からだ分からないといった事になる。</p> <p>全てに番号を振るか、一番後ろに用語集を付けることも考えられる。表現の方法なので、分かり易い形にした方が良いと思うがどうか。</p>
委員	番号を付して、一番後ろに掲載した方が良いかもしれない。
会長	それであると、例えば「させぼエコプラザ」の後ろに「2」「2」「2」...と全てにつくことになる。
副会長	<p>現計画では、一番後ろに用語集がある。</p> <p>しかし、読んでいくうちに、どこのページに、何があるのかわからなくなるため、下に付した方が良いのではないかとも思う。</p>
委員	7ページの「持続可能な開発のための教育」については、「ESD」を付け加えた方が良い。
会長	<p>一般的に「ESD」といわれることが多いので、そうした方が良い。</p> <p>用語集については、事務局で検討してもらいたい。</p>
事務局	現計画では、コラムで「ESD」について説明がなされているので、そのような形を検討してみる。
委員	<p>21ページの表について、注記は上に持ってきた方が良い。</p> <p>図は下で良い。</p>
会長	39ページの学校教育に関する動向の文中に「2017（平成29）年から2018（平成30）年にかけて改訂された幼小中の学習指導要領」とあるが、2018年に改訂されたのは高校のみであるため「2017（平成29）年に改訂された」に修正をお願いする。
委員	<p>素案に書いてあるように、幼少期に自然に触れることは大変重要であると思う。</p> <p>数校に一人くらいは専門的な方を、配置することが理想ではないかと思った。</p>
委員	<p>虫に触れることができなかつた子が、夏休みに何回も虫取りへ行くと、徐々に触れることができるようになり、観察する喜びを覚えてくれた。</p> <p>そういうところの教育をもう少し手厚くやってもらいたい。</p> <p>小さいことから多様性を含めた、環境教育ができたら良いと思う。</p>

その他	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● スケジュールについて <p>今回の意見等を反映した素案を11月中旬からパブリックコメントを行い、広く市民の方から意見を伺う機会を設けることとしている。</p> <p>その後は印刷という作業になるので、実質、委員の皆さまから意見を伺う機会は、今回までとなる。</p> <p>今年度は4回、協議会を開催したが、ご協力いただき、御礼申し上げます。</p> <p>次は2月に第5回の協議会を予定しているが、そこでは、最終の計画をお示しすることとなる。</p> <p>また、来年度の事業についても説明できるかと思う。</p> <p>また、細かな素案の修正等については、正副会長に一任ということでした承願したい。</p> <p>今回も「意見シート」を配布している。</p> <p>本日、発言できなかったことや、持ち帰っていただき思いついたことなどがあれば、10月31日（水）までに返信いただければと思う。</p>
会長	<p>今回が、実質最後の計画策定の会議となる。</p> <p>委員の方におかれては、今までご協力いただき感謝申し上げます。</p> <p>計画に関する意見等については、最後の機会となるので、ぜひいただければと思う。</p>